

六甲高山植物園 鮮やかな六甲ブルー 牧野富太郎が命名したヒメアジサイが見頃

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区、社長:妹尾昭孝)が運営する「六甲高山植物園」では、鮮やかな『六甲ブルー』に染まったヒメアジサイの群落が7月下旬頃まで見頃を迎えています。

ヒメアジサイは、1929年に植物学者・牧野富太郎が命名した品種です。その花姿が女性的で優美なことから名付けられました。六甲山は花崗岩特有の酸性土壌のため、アジサイが非常に鮮やかな青色に発色し、『六甲ブルー』として神戸の市花にも指定され親しまれています。

村上定弘著『六甲あれこれ～六甲山をめぐる物語～』には、戦中から戦後にかけて寂れてしまった山を憂いた阪急電鉄創業者・小林一三氏が「六甲山をアジサイの山にしたい」と苗の提供を申し出られ、当時六甲山小学校の教師であった林中元氏が相談を受けたという、六甲山にアジサイが植栽されたいきさつが記されています。



■ イベント情報 「六甲高山植物園×暦生活・花びより」

七十二候の暦と花の色の展示や、花あつめスタンプラリーを開催。アルプスやヒマラヤ、日本の高山植物の花々とともに、四季をめぐる、いとoshむ時間を。

【開催日】開催中～7月12日(日) 【時 間】10:00～17:00(16:30チケット販売終了)

【参加費】無料(別途入園料要)

◆ リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園
TEL:078-891-1247 / FAX:078-891-0137
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆ 営業概要

【開園期間】 開園中～11月29日(日) ※休園日あり。HPを要確認。
【開園時間】 10:00～17:00(16:30 チケット販売終了)
【入 園 料】 大人(中学生以上)900円 / 小人(4歳～小学生)450円
【駐車料金】 1,000円

※荒天により営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。

